

7月のアルミレポート及び8月の見通し

橋本アルミ(株) 橋本健一郎



予想レンジ	
LME現物後場買い	2,000-2,200ドル ●弱い
スクラップ	-5~10円 ▲弱い
(前月最終価格より)	
為替	110~112円 ▲変わらず
(1か月間TTM)	

■概況

前半は、5月に発動されたルーサルへの制裁に伴う供給不安、米ダウが米企業の好業績期待から上昇したことなどのプラス材料もあったが、中国商務省が米国が追加関税の対象となる2,000億ドル(約22兆2,000億円)相当の中国製品のリストを公表したことを受け、「必要な報復措置を取る」とする声明を発表したこと、英国のEU離脱期限の来年の3月29日を前に担当閣僚が2人もやめるなど混乱していることなどを嫌気しDOWN。

7月15日時点で2,102ドル(セツル)と月初価格から51ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は米財務長官が金曜夜、対ルーサル制裁解除に向けてオープンに構えたとの発言などのプラス材料もあったが、トランプ大統領によるFRBへの介入発言、米国の輸入自動車関税25%賦課が年内にも発動するとのニュースなどを嫌気しDOWN。

8月3日現在LME(セツル)2,023ドルと後半スタート価格から107ドルDOWNしてのスタートとなった。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

110.88→111.03(円)



出展 MIRU

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比+4.6%の72万5,216台であった。

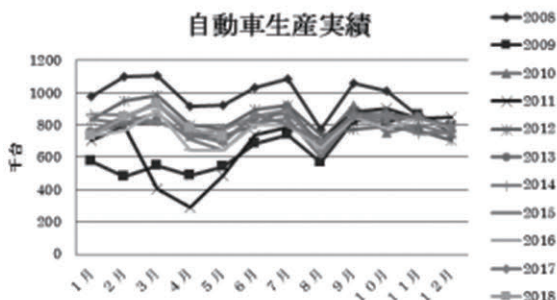
	3月	4月	5月
生産台数	93万2003台	77万76702台	72万5216台
前年比	+0.2%	+3.8%	+4.6%

◆自動車販売台数

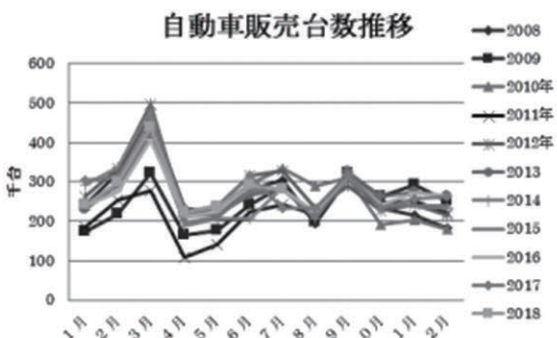
日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比+1.2%の28万1,876台。

	5月	6月	7月
販売台数	23万6023台	292761台	2万8176台
前年比	-0.6%	-7.3%	+1.2%

自動車生産台数実績



自動車販売台数推移

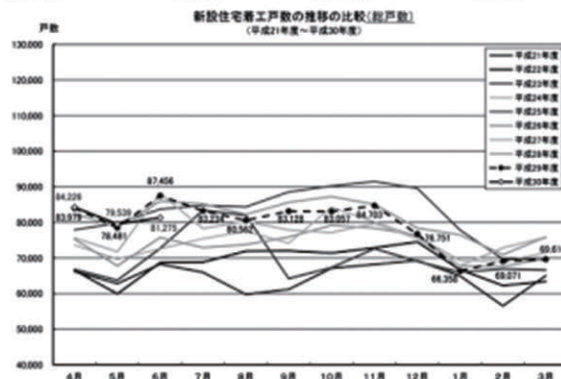


出典 日本自動車販売協会連合会

新設住宅着工件数推移

国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比-7.1%の8万1275戸であった。

	4月	5月	6月
新設住宅着工数	8万4226戸	7万9539戸	8万1275戸
前年比	-0.3%	+1.3%	-7.1%



出典 国土交通省統計

【次頁へ続く】

◆貿易指標

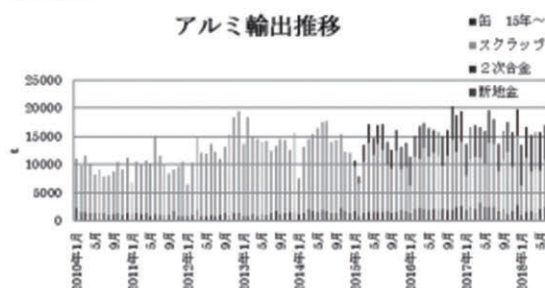
輸出

財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金が前年比+711.3%の668t、2次合金が-29.1%の1,686t、スクラップが-25%の8,485t、アルミ缶が+5%の6,128t。

輸出	4月	5月	6月
新地金	53t	417t	668t
前年比	-72.6%	+325.1%	+711.3%
2次合金	1341t	1624t	1686t
前年比	-8.5%	-29.1%	-29.1%
スクラップ	7755t	6874t	8485t
前年比	+9.6%	-11.6%	-25%
缶	6692t	6802t	6128t
前年比	+3.3%	+19.3%	+5%

輸出推移

アルミ輸出推移



出典 財務省貿易統計

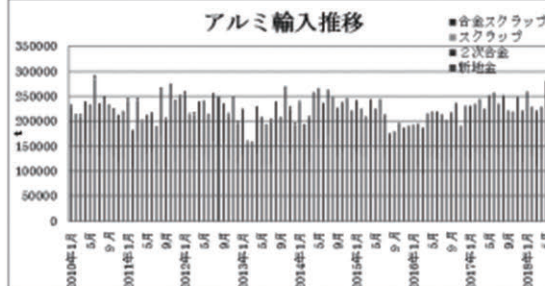
輸入

輸入は新地金が前年比+11.9%の15万8,708t、2次合金が-18.3%の9万4,415t、スクラップが+122.8%の1,103t、合金スクラップは-2.8%の3,268t。

輸入	4月	5月	6月
新地金	12万3320t	16万2829t	15万8708t
前年比	+11.4%	+12.4%	+11.9%
2次合金	10万4901t	11万7437t	9万4415t
前年比	-5.2%	+10%	-18.3%
スクラップ	594t	1065t	1103t
前年比	+11.3%	+54.1%	+122.8%
合金スクラップ	3842t	5137t	3268t
前年比	+0.7%	+32.3%	-2.8%

輸入推移

アルミ輸入推移

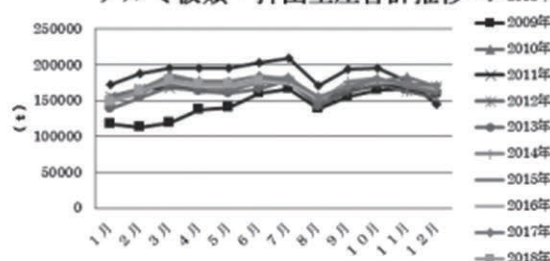


出典 財務省貿易統計

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.2%、17万6,923t、6カ月連続マイナス。

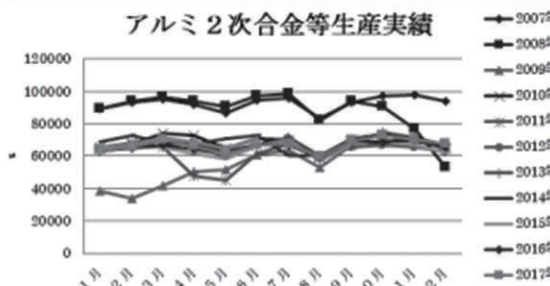
アルミ板類・押出生産合計推移



光ファイバテープ心線用被覆除去器 RS03

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績は前年比+5.6%の7万392tであった。

アルミ2次合金等生産実績



出典 日本アルミニウム合金協会

■概況

【自動車】

5月の四輪車生産台数は72万5,216台で、前年同月比+4.6%となり3カ月連続増加。輸出は41万2,156台で前年同月比-3.1%。

【販売】

7月の国内自動車販売台数(軽は除く)は28万1,876台で前年比+1.2%。1カ月ぶり増加。

内乗用車+1.6%、貨物-0.2%、バス-33%。

【住宅】

・平成30年6月の住宅着工戸数は81,275戸で、前年同月比で7.1%減となった。また、季節調整済年率換算値では91.5万戸(前月比8.2%減)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で3カ月ぶりの減少となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに減となった。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.2%、17万6,923t、6カ月連続マイナス。

【板類】

生産・出荷共に6カ月マイナス。

(1) 缶材35,157t(▲16.8%)

ビール系飲料の低調に加え、ボトル缶も落ち込んでおり、5ヶ月連続でマイナス。

(2) 自動車15,400トン(1.1%)

乗用車向けの需要増により、5ヶ月連続でプラス。

(3) 輸出16,339トン(▲9.3%)

6ヶ月連続でマイナス(財務省貿易統計による5月の米国向け輸出:1,876トン、前年同月比:▲1.1%)。

【押出類】

生産、出荷ともに3ヶ月ぶりにマイナス。

建設39,047トン(▲2.2%)。3ヶ月ぶりにマイナスとなったが、先月のプラス幅が比較的高かった(+4.8%)ことによる反動減によるもの。

自動車12,182トン(▲3.0%)。トラック向けの減少により、5ヶ月ぶりにマイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+5.6%、7万392t、9カ月連続プラス。

出荷は+2.7%、7万331t、9カ月連続プラス。

内出荷先

鋳物+31%、ダイカスト+13%、板1.6%、押出+1.9%、鉄鋼+23.7%、合金地金メーカー、-2.2%。

【輸出】

アルミ新地金が前年比+711.3%の668t。

二次合金が-29.1%の1,686t。

スクラップが-25%の8,485t。

アルミ缶が+5%の6,128t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比+11.9%の15万8,708t。

二次合金が-18.3%の9万4,415t。

スクラップが+122.8%の1,103t。

合金スクラップが-2.8%の3,268t。

【見通し】

・自動車は生産が+4.6%。国内販売台数が前年比+1.2%。

生産が3カ月連続プラス、販売が3カ月振りプラス。

販売増が継続するかどうか今後に注目。

・住宅着工の動向については、前年同月比で-7.1%と3か月ぶり大幅マイナス。

大幅減が続くのか今後の動向に注目。

鋼・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

・アルミ圧延・押出品生産数は板類・押出生産合計は前年比-4.2%、6カ月連続マイナス。

今後更にマイナスが続くかの動向に注目。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+5.6%、7万392t、9カ月連続プラス。

出荷は+2.7%、7万331t、9カ月連続プラス。

今後もプラスが続くか注目。

・アルミ輸出は地金がアメリカの輸入規制に伴う地金高思惑を受けて大幅増加。

スクラップは価格急落による塩漬け玉状態で減少。

アルミ缶は内需の荷余り感から増加。

・アルミ輸入は地金、スクラップが中国塊の割安感から増加。合金系は減少。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は前月に続き中国塊の下落を受けてスクラップも連れて下落しており、売り玉が多いものの買い手は少なく飽和状態。

需要面に関しては前月に続き自動車の販売が低迷していること、輸入地金の下落、夏季休業を受けて荷余り状態になるのではないかと？

【価格・為替予想】

今月は米貿易戦争と対ルサル制裁の動向に左右される。

米貿易戦争に関しては中国商務部が「米国の貿易に関する脅し、いじめは理解できず報復措置を取らざるを得ない」との発表！トランプ米大統領も7月に公表していた2,000億ドル分の中国製品を対象とした対中制裁の関税率を当初の10%から25%に引き上げるよう米通商代表部(USTR)に指示するなど貿易戦争の長期化の様相。

対ルサル制裁の動向に関しては米財務長官が金曜夜、対ルサル制裁解除に向けてオープンに構えるとの発言したことから緩和に向かうのではないかと。

これらを踏まえた8月のアルミ価格は、米貿易戦争で両国間で歩み寄りが見られ、対ルサル制裁解除が決裂した場合2,200ドル付近。

両条件が揃わなかった場合現状から2,000ドル付近まで下落するとの予想。

為替は、上記材料からドル円値は110円~112円(TTM)を予測。

スクラップ購買価格に関しては-5~10円程度と予測している。

鉛屑・活字屑

雨滝商事株式会社

広陵リサイクルセンター

代表取締役 雨瀧 卓

奈良県葛城郡広陵町大字三吉 27-1

TEL/FAX (0745)60-1613 携帯 090-2115-4918

高価買取ります